

施策番号	1201		
施策名	世界中のひとびとを引き寄せる京都の魅力の向上と発信		
概要	景観，観光，文化，環境等，京都がもつ魅力を向上させ，世界各国に効果的な情報発信を行うとともに，海外からの訪問者が快適に行動できるよう受入環境の充実を図り，世界中のひとびとを引き寄せるまちとする。		
担当局・部室	総合企画局・国際化推進室	共管局・部室	産業観光局・観光MICE推進室
上位政策	12 国際化		
施策に関する主な分野別計画等	京都市国際化推進プラン，未来・京都観光振興計画2010+5，京都市MICE戦略		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名	24年度	25年度	26年度評価					
			前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標のウエイト
1 コンベンション参加者数(人)	d	a	114,257	100,821	114,257	88.2%	d	1.00
2 -	-	-	-	-	-	-	-	-
3 -	-	-	-	-	-	-	-	-
4 -	-	-	-	-	-	-	-	-
5 -	-	-	-	-	-	-	-	-
6 -	-	-	-	-	-	-	-	-
	d	a	客観指標総合評価				d	

2 市民生活実感評価

*この評価は，毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問	26年度回答						有効回答者数	評価
	そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない			
1 京都には，世界から観光，留学，ビジネス等を目的として訪れるひとびとを引き寄せる魅力と，受入環境がある。	138	249	89	34	11	521	a	
	26.5%	47.8%	17.1%	6.5%	2.1%			
2 京都は，文化資産の継承，環境にやさしい取組などを通して，平和都市として国際社会に貢献している。	100	231	125	17	11	484	a	
	20.7%	47.7%	25.8%	3.5%	2.3%			
3 -							-	
4 -							-	
5 -							-	
	市民生活実感調査総合評価							a

3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

B	施策の目的がかなり達成されている					25年度	B
	重み付け	<input type="checkbox"/> 客観指標	d	<input checked="" type="checkbox"/> 市民の実感	a		
(重み付けの理由) 世界への京都の魅力発信に対する評価は、市民の意識が重視されるべきであると考え、また、京都の魅力は多岐にわたるものであり、客観指標総合評価では全ての分野が網羅できないため、市民生活実感調査総合評価を重視する。						24年度	C
(原因分析) 【客観指標】国際会議は基本的に開催周期があること、また大型会議施設の大規模改修工事などのマイナス要因が重なったため、a→d評価に悪化したものと考えられる。 【市民の実感】b→a評価に改善された。これは、文化遺産や大学の集積といった京都の強みや魅力が市民に認識された結果によると考えられる。							

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		26年度事務事業評価結果における目標達成度評価	担当局
		25年度決算額	26年度予算額		
1	京都文化交流発信事業の推進	6,219	9,836	かなり悪い	総合企画局
2	2014年青島世界園芸博覧会における京都の魅力発信事業	—	18,376	—	総合企画局
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

- コンベンション参加者数の増加が課題となっていることから、国公賓客や市賓客の受入時に京都の魅力を発信することや、京都創生等による京都の持つ様々な魅力の向上に引き続き取り組んでいく。また、そのために、庁内関係部局間の連携を密にするとともに、市民が外国の文化に触れる機会を増やし、おもてなしの心の向上、受入環境の充実を図る。
- 京都が持つ魅力を包括的かつコンパクトにまとめた多言語版のDVDを、引き続き、海外を訪問する交流団体や大学等、及び海外からの賓客等に配布し、様々な機会を通して京都市をPRする手段として活用していく。

施策名	1201	世界中のひとびとを引き寄せる京都の魅力の向上と発信									
指標名	コンベンション参加者数（人）										
担当課	観光MICE推進室	連絡先	746-2255								
1 指標の説明											
1年間に京都市域内で開催された会議で、日本を含め3箇国以上から総勢50名以上の参加のあった国際会議に参加した人数											
2 指標の意味			3 算出方法・出典等								
経済、文化、国際交流等の様々な分野への波及効果を伴う国際MICE都市の実現に向けた進捗状況を示す指標			出典：京都文化交流コンベンションビューロー「京都で開催の国際会議」、日本政府観光局「国際会議統計」								
4 数値											
	前回数値 24年度	最新数値 25年度	推移 13,436人減	目標値							
数値	114,257	100,821		数値 114,257	根拠 過去5年間の最高値	達成度 88.2%					
	全国順位	中長期目標			備考 数値の公表時期の関係により、評価は暫定値で行う。前回数値については実数に修正している。						
数値		数値	目標年次	達成度 根拠							
5 評価基準		6 基準説明		7 評価結果							
最新の数値が過去5年間の a：最高値以上 b：上中間値（最高値と平均値の中間値）以上～最高値未満 c：平均値以上～上中間値未満 d：下中間値（平均値と最低値の中間値）以上～平均値未満 e：下中間値未満		各年度の具体的な数値目標の設定が困難であるため、過去5年間の数値の推移で評価する。 最高値 114,257人（平成24年） 平均値 102,892人 最低値 84,391人（平成23年）		<table border="1"> <tr> <td>24</td> <td>25</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>d</td> <td>a</td> <td>d</td> </tr> </table>		24	25	26	d	a	d
24	25	26									
d	a	d									